議会だより 202

2026年11月1日発行

三芳町

笑顔で 新たなステージへ



町政を問う！一般質問 ▶p.2
巨額決算を認定 ▶p.10
ルミナみよしに仮設駐車場 ▶p.17
議員の賛成・反対一覧表 ▶p.20

撮影者
藤久保在住　佐藤賢一さん
ボーイスカウト三芳第一団ビーバー隊とカブ隊の2025年12月の活動楽しいクリスマス会の集合写真です。

議会だより発行月　2月　5月　8月　11月

次の発行は2月1日の予定です。

一般質問　議員の持ち時間は 60 分以内です。誌面の都合上、ほんの一部の掲載となります。QR コードから YouTube で動画をご覧いただけます。

ズバリ！町政を問う

内藤美佐子議員　未来への投資「道の駅」再考を！　P.2
菊地浩二議員　6 次産業、次のステージへ　P.3
細田三恵議員　子ども・子育て関連事業の検証は　P.3
牛丸藍子議員　産後の SOS、迅速な支援を　P.4
桃園典子議員　みんな“ルミナ”輝ける町に　P.4
小松伸介議員　熱中症や豪雨等、気候変動対策を　P.5
長野真寿美議員　子どもの声を町政へ　P.5
久保健二議員　町民の命、生活第一のまちづくり　P.6
林　善美議員　利用しやすい公共施設を目指して　P.6
光下重之議員　地震・豪雨への対応できているか　P.7
増田磨美議員　介護従事者の安全確保を　P.7
吉村美津子議員　中学校の学校給食費の無償化を　P.8
本名　洋議員　教育現場や学校施設のリスク管理　P.8

未来への投資「道の駅」再考を！



公明党
内藤美佐子（ないとう みさこ）

道の駅整備事業については6月定例会にて議会は関係議案を否決した。この事業は平成13年に策定された都市計画マスタープランにおいて「三芳バザール賑わい公園構想」として位置付けられ、その後平成18年の第4次総合振興計画、第5次総合計画、第6次総合計画へと引き継がれ、町の魅力発信や地域活性化の拠点として長年検討され、その都度議会は承認してきた。

問　議会での一旦立ち止まるべきとの判断を町はどのように分析しているか。

答　総合調整幹　単なる事業の一時保留ではなく、より持続可能で町民の皆様が心から納得できる事業へと磨き上げるための機会をいただいたものと捉えている。

問　各地で災害が多発しており、「防災道の駅」設置についての必要性は。

答　総合調整幹　災害時の応援部隊集結・進出拠点である三芳パーキングエリアに隣接の立地を踏まえた防災施設の配置や使用について精査し、引き続き防災道の駅を目指したいと考える。

問　町は今後地域活性化事業についてどのような方向性を考えているか。

答　政策推進室　三芳スマートインターチェンジを西の玄関口とし、産業や観光交流等の出入口と定め、その環境整備を実施することで、町の経済活性化や賑わいの創出を図っていく。

問　夢や希望の持てる地域活性化の方向性を町民にどのように示していくか。

答　町長　町民の皆さんと意見交換を重ね、ともに考え、ともに作り、町民の皆さんに喜んでいただける地域活性化拠点を考えたい。

その他の質問

①不登校児童生徒の自宅学習支援、②学びの多様化学校（不登校特例校）設置検討について



ズバリ！町政を問う　一般質問

6 次産業、次のステージへ



菊地浩二（きくち こうじ）

町の過去5年間の6次産業プラス支援事業は、採択14件、商品開発7品、継続販売5品。このうち農商工マッチングは2件、町内企業との共同開発は1件にとどまる。

問　年15万円の予算で事業の目的と成果指標は。

答　観光産業課　農業者が農産物加工販売に取り組むきっかけ作りと、経営の多角化、所得向上が目的。

問　所得向上に繋がったか。

答　観光産業課　3件は効果があり、残り2件は今後向上が見込まれる。

問　雇用や地域経済への波及効果は。

答　観光産業課　売上向上による地域経済への波及効果はある。雇用創出は把握していない。

問　農商工連携や共同開発をどう評価するか。

答　観光産業課　商工業者との連携は低く、町内加工業者との本格的な連携は課題。今年度からフードマッチング事業に取り組んでいる。

問　連携にはコーディネート機能が必要では。

答　観光産業課　商品企画、試作、販路開拓の段階で適切なコーディネート機能は必要。ニーズを把握し必要な支援を検討する。

問　開発した商品を「伝える・売る」仕組みは。

答　観光産業課　開発後の販売促進は農業者の自主的な経営判断に委ねている。イベント以外の販売促進支援は十分ではなく、今後の課題として検討する。

問　農商工、観光、ふるさと納税など部門を越えて商品を育てる仕組みはあるか。

答　観光産業課　これまではふるさと納税担当への情報提供にとどまっていた。今後はフードマッチング事業などで情報共有・連携を図っていきたい。

開発された商品	現在の状況	販売主体	年間売上
おいもチップス	販売中	農業者	1,000万円
乾麺そば	販売中	農業者	150万円
狭山茶ティーパック	販売中	農業者	125万円
さつまいもアイス	販売中	農業者	60万円
狭山茶シュークリーム	イベント販売	企業	40万円
クイックスイート	販売中	農業者	18万円
十割そば（乾麺）		農業者	

子ども・子育て関連事業の検証は



細田三恵（ほそだ みつえ）

子ども・子育て支援金の徴収が始まった。少子化対策を30年以上続けてきたが、出生率の減少が続いている。今後負担増だけではなく、政策効果の検証と効果ある施策の重点化が必要と考え質問する。

問　子ども・子育て支援金の負担と周知は。

答　住民課　医療保険の仕組みを活用し全世帯から拠出し、児童手当の拡充や妊娠・出産支援等に充てる国の制度。国民健康保険加入者1世帯当たり年額約5300円の負担増。広報やHP、納税通知書等を通じて周知し、問い合わせにも丁寧に対応する。

問　子ども・子育て関連事業の規模と効果検証は。

答　こども支援課　令和8年度は22事業（総額約22億円）、うち町単独事業は8事業（約7000万円）。事務事業評価について、目標達成率と評価項目等から事業の効果性・効率性を確認している。

問　国に、少子化対策の在り方や住民負担等の制度の再考を促して頂きたい。

答　町長　物価高騰が続く中、子ども・子育て支援金制度の新たな負担を求めることへの不安や疑問があることは承知しているので、国に対し、住民の声を届けると共に、丁寧な制度説明や財政支援を求め、町も子ども子育て施策に取り組む。

◆町道幹線21号線と竹間沢・大井・勝瀬通り線の整備について

問　用地取得が困難な場合、収用制度を活用する考えは。

答　町長　任意の用地取得を基本とし、権利者への説明と協議を進め、取得困難な場合には事業の必要性・緊急性、用地取得状況等を総合的に勘案し、関係法令に基づく収用手続きの活用についても検討する。



一般質問とは？

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。
地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。

産後のSOS、迅速な支援を



牛丸藍子（公明党）
うしまる あいこ

問 出産後の要支援者のスクリーニング方法と支援の要否の判断基準は。

答 こども支援課　生後４ヶ月までに保健師等が乳児家庭全戸訪問を実施し、県が作成した各質問票の基準をもとにした評価とフローチャートを活用し、スクリーニングを実施している。訪問時に聴取した支援者の有無や経済状況などリスク要因と母親の支援ニーズをもとに、必要に応じてこども家庭センターの合同カンファレンスにて支援の要否や方針を協議している。

問 妊娠中から産後にかけて物忘れや判断力の低下など認知機能の変化が起こるマミーブレインについて妊産婦への情報提供は。

答 こども支援課　公的機関が行う情報発信においては医学的エビデンスに基づいた正確かつ標準的な情報を提供することが基本姿勢であることから、現時点で特定の用語を用いた啓発は慎重であるべきと考える。

問 実態の周知の必要性について町の認識は。

答 こども支援課　産後の変化について理解と周知を深めることは重要と考える。

問 聴覚情報・視覚情報の処理が通常より難しい状態の母親に配慮した情報伝達について町の考えは。

答 こども支援課　筆談やリーフレットを活用など、視覚的にわかりやすいコミュニケーションを活用し、より一層丁寧な説明を行うなど臨機応変に対応したい。

問 円滑にサービスが利用できるよう情報処理のコーディネートが必要では。

答 こども支援課　保健師等が保護者と一緒に問題を整理しニーズに対応できるよう支援している現在の伴走型相談支援の体制をさらに強化し、保護者に寄り添った支援をしていきたい。



熱中症や豪雨等、気候変動対策を



小松伸介（公明党）
こまつ しんすけ

問 救急搬送件数の推移は。

答 健康増進課　5～9月の集計で、令和5年度54件、6年度49件、7年度46件。

問 対策をどう講じているか。

答 健康増進課　熱中症予防のチラシ配布、クールオアシスみよし設置、クーリングシェルターの開設等。

問 児童生徒の登下校中の対策として可児市「みまもりオアシス」制度の検討は。

答 教育長　今後も関係機関と協力し、対策に努める。

問 学校等に熱中症リスクを判定するAIカメラを導入し、危険度を可視化しては。

答 教育長　今後研究する。

問 体温を見える化するシールを高齢者等に配布し、危険度を可視化しては。

答 健康増進課　暑熱リスクへの気付きをサポートする上で有効な手段と考える。今後も情報把握に努めたい。

問 豪雨対策について、近年の浸水被害等の状況は。

答 自治安心課　床下浸水被害で消毒依頼が3件。

問 浸水箇所改善工事等は。

答 上下水道課　被害箇所中心に貯留浸透施設等を設置し被害軽減に努めている。

問 止水板補助への検討は。

答 道路交通課　他事例や費用対効果、住民ニーズ等、調査研究を続けていきたい。

問 他市のように豪雨等の際、被害軽減のため住民へ生活排水抑制を要請しては。

答 上下水道課　検討する。

問 車両水没を回避するため民間企業と避難協定は。

答 町長　共助を強化する。

問 三芳町ゼロカーボンシティ宣言後の取組み状況は。

答 環境課　再生可能エネルギー導入促進や温暖化対策の意識醸成、緑の創出等。

◆北永井児童館について

問 維持を望む声があるが。

答 町長　安全面や改修費用等に課題がある。財政負担との整合性を見極めたい。


廃止が計画されている北永井児童館

ズバリ！町政を問う　一般質問

みんな“ルミナ”輝ける町に



桃園典子（公明党）
ももぞの のりこ

◆身寄りのない高齢者への生涯を通じた支援

問 権利擁護の上で課題は。

答 福祉課　入院入所等手続き、金銭管理、葬儀等の役割を担う方がいないこと。

問 生前に死後事務を委任する際、預託金を準備できない低所得の方への支援は。

答 福祉課　支援については国の動向を注視していく。

問 ペットを飼っている方へエンディングノートを活用した意思確認が重要では。

答 福祉課　飼育に関する希望の整理は重要と考える。

問 必要に応じ動物愛護推進員や地域猫ボランティアと連携し支援しては。

答 福祉課　連携体制は関係機関と協議し検討する。

◆長期休業期間におけるこどもの食の確保と支援

問 経済的に困難を抱える家庭の食事状況の調査は。

答 福祉課　実施してない。

問 国の補助事業を活用し学童保育で食事提供しては。

答 こども支援課　先行自治体を参考に検討する。

問 お米の支給や子ども食堂と連携し食事の提供を可能にしては。

答 福祉課　既存の支援制度を案内し研究していく。

問 こどもを守るサポート体制の構築が必要では。

答 町長　地域全体でこどもを支えていく観点でこども食堂等の活動を支援する新たな仕組みを検討したい。

◆ルミナみよし供用開始後の環境整備について

問 小学校校庭代替地への移動時間短縮の通路確保は。

答 施設マネジメント課　通路確保が確認できた場合は可能性を検討していく。

問 民間事業者と連携した駐車場の確保が必要では。

答 町長　駐車場の確保に向け調査しながら検討する。



子どもの声を町政へ



長野真寿美（三芳みらい）
ながの ますみ

問 子どもの意見を施策や予算に反映し、その結果を子どもへ返す仕組みが必要では。

答 こども支援課　こどもまちづくり会議等の意見や提案は関係課で検討し、政策や事業に反映している。今後は検討結果を子どもに分かりやすく返す仕組みを検討する。

問 将来的に「子ども予算枠」を設ける考えは。

答 町長　子どもの声が施策や予算に反映されることは意義深い。こどもまちづくり補助金の成果と課題を精査し、先進自治体の事例や実情を踏まえ研究・検討する。

◆若年性認知症・高次脳機能障害への支援

問 若年性認知症への現在の支援と課題は。

答 健康増進課　認知症サポートセンターで3名を支援している。就労や経済面、社会的な居場所などの課題があり、県の専門機関と連携し支援している。

問 高次脳機能障害への支援を計画にどう位置づけるのか。

答 福祉課　現時点では重点施策とする予定はないが、埼玉県と連携し、審議会で検討し計画を策定する。

◆学校給食の食物アレルギー対応

問 アレルギー対応調理室はこれまで稼働したことがあるか。

答 教育総務課　給食提供開始から使用した経緯なし。

問 今後、学校給食のアレルギー対応をどこまで目指すのか。

答 町長　子どもの命に関わる重要な課題。アレルゲンフリーの献立拡充、学校との連携、献立情報の早期提供を進め、他自治体の調理室活用事例も研究する。



一般質問とは？

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。
地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。

町民の命、生活第一のまちづくり



輝
久保健二
くぼけんじ

問 近年、全国各地で激甚化する地震や自然災害、豪雨災害時において長期にわたる断水は都市機能や町民の生活、避難生活等で大きな打撃を受けると考える。現状の水道管の老朽化更新率、耐震管への交換率は。

答 上下水道課　本町に布設されている水道本管約138kmに対し、法定耐用年数40年を超えた水道管は約16kmで全体の11・74%。新たに更新時に布設された耐震化への管の交換率は、令和7年度末時点で約21kmで全体の15%。また国が定める耐震適合性のある水道管への交換率は54kmで全体の約39%となっている。

問 最優先して進める計画にある重要施設（指定避難所・医療機関・防災拠点）への耐震化の進捗状況は。

答 上下水道課　避難所等の重要給水施設の延長は約20km。うち耐震管への交換は約4kmで全体の約20%。

問 下水道管の法定耐用年数を超えている老朽化更新率、地震等対策で揺れに強い耐震化の更新状況は。

答 上下水道課　下水道管の耐用年数は50年、町が管理する汚水管（下水道管）は126km埋設されているが50年を超えている管は126mで0・1%である。

問 令和7年4月に三芳町上下水道耐震化計画策定。概ね20年間での耐震化計画を掲げているが全国で激甚化する水災害等を鑑みると、一刻も早い対策、対応が必要。整備計画を5年、10年と大幅に前倒しする計画の見直しが必要ではないか。

答 町長　町の上下水道は住民の生活、経済活動、災害時の重要インフラである。耐震化と老朽化対策の加速化は優先して取組む施策と考える。より有利な財政措置の創生を、あらゆる機会を捉えて要望していきたい。



利用しやすい公共施設を目指して



三芳みらい
林　善美
はやしよしみ

問 中央図書館の利用率は。

答 未来創造課　10時台が20%と最も多く、17時までの利用が90%を占める。年代別では50代以上が69%。

問 開館時間や休館日の見直しなど、より利用しやすい図書館運営を検討してはどうか。

答 未来創造課　多くの皆様に便利にご利用いただくことは大変重要。新図書館開館にあたり開館時間を早めてほしいというご意見を頂いている。効率的な人員配置やシフト管理など、開館時間の拡大に向けてどのような体制作りが可能か、具体的な検討を進める。

◆情報発信力の向上について

問 役場庁舎の情報発信方法についての認識は。

答 施設マネジメント課　必要とする情報をより分かりやすく、目的の窓口や手続きに円滑に繋げていくため、案内表示や情報提供の方法は工夫していく必要があると認識している。

問 デジタルサイネージには平時の情報提供だけでなく、災害発生時には緊急情報発信ツールとして活用が考えられる。情報発信のネットワークとして公共施設への導入の考えは。

答 財政デジタル推進課　ルミナみよしでの活用状況や住民ニーズ、効果を検証し、その結果を踏まえて役場庁舎への導入を検討する。

◆今後の町政運営について

問 今後力を入れて取り組む事業は。

答 町長　子どもにやさしいまちづくり事業、上富小学校の跡地利用や道の駅の機能分担による西の玄関口・未来創造拠点の検討など、シビックプライドをさらに次の世代へとしっかりと引き継いでいく。


ルミナみよしに設置されたデジタルサイネージ

ズバリ！町政を問う　一般質問

地震・豪雨への対応できているか



日本共産党
光下重之
みつしたしげゆき

問 最大震度6弱の繰り返し、あるいは記録的短時間大雨に襲われた時の備えはあるか。

答 自治安心課　町地域防災計画に細かく記載してはいないが、全庁一丸の臨機応変な状況対応、地域と連携した多角的な支援活動を継続するようになっている。

問 国の最新防災基本計画との整合性はとれているか。

答 自治安心課　県の改訂を受け明記することになるが、令和7年3月公表の町防災計画改訂版では、重要度の高い課題は既に必要な修正を終えている。

◆福祉事務所設置を

問 福祉六法を全面的に所管する福祉事務所を設置し、福祉に対する権限強化で迅速な対応ができるようにする意義は大きいのでは。

答 福祉課　相談から決定支給まで早くなるなどメリットがあるが、人件費を含めた財政的負担、専門職確保などデメリットもあり、慎重な議論が必要だ。

問 三芳町より人口の少ない多数の市が、義務設置による運営している。町には専門職も十分いるので、設置できると思うが。

答 町長　必要性をあらためて認識した。中長期的な財政見通しなど総合的に勘案し研究していきたい。


埼玉県西部福祉事務所（坂戸市内）

◆住民生活への緊急支援

問 令和9年度から中学校給食無償化、水道基本料金の無償化、全町民に5千円の給付金支給は。

答 町長　大規模な物価高騰対策を継続実施することは、財政運営や財政調整基金の慎重な管理の観点から困難であり、町単独での実施は見送らざるをえない。

その他の質問

ルミナみよしの女性トイレ問題について

介護従事者の安全確保を



日本共産党
増田磨美
ますだますみ

問 令和8年6月に川口市でケアマネジャーが利用者宅で家族から危害を加えられ亡くなるという事件が発生した。三芳町でも介護従事者の安全確保を図ることが急務である。町の対応は。

答 健康増進課　埼玉県カスタマーハラスメント総合窓口の開設を周知している。また、介護サービス事業所が利用者、家族から苦情を受けた際の報告書を作成し、対応できる体制を整えた。

問 県から居宅介護事業所等に、複数人訪問補助費・安全対策グッズ購入費補助金が支給されるが、令和9年3月までの期限付きだ。介護に携わる方の安全のために終了後も町独自の支援策を考えるべきではないか。

答 町長　現場で直面しているハラスメントの実態などの把握に努め、町としての支援策についても検討を重ねていきたい。

◆子ども達に寄り添った環境作りを

問 通級指導教室の自校設置がない場合、児童・保護者の負担は大変大きい。他校の教室に通うには、保護者の送り迎えが必要。保護者は、是非通わせたいが、仕事を抜けるのは厳しいとのこと。児童の成長のために自校設置を行うべきでは。

答 教育センター　保護者の相談に応じ、負担軽減に努めていく。各校で授業が受けられるよう巡回型で行うことも検討している。

問 藤久保小学校の児童は、グラウンドが工事中で使用できず、運動量が不足しているのではないか。

答 学校教育課　運動不足に関しては真摯に受け止めている。運動強度の確保を意識した取り組みを積極的に行い、体育館の使用も視野に入れて体を動かせる環境作りに取り組んでいく。



一般質問とは？

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。
地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。

中学校の学校給食費の無償化を



輝
吉村美津子
よしむらみつこ

問 県内の10町村が中学校の学校給食費の無償化を実施している。２０２７年４月から実施すべきでは。

答 町長　国の政策と捉えているので、考えていない。

◆熱中症対策

問 地球温暖化で毎年、気温が上がり40度となる。高齢者などはエアコンが欠かせない。低所得者へのエアコン購入費の補助と、電気料金の補助（５月から10月、月３０００円）を行っては。

答 町長　命を守ることから、大切な提案と思うが、財源などの検討が必要だ。

◆歩道と自転車道の整備

問 歩道・自転車道の安全対策の要望は強い。計画をもって、進めるべきでは。

答 道路交通課　大事な問題と捉えているので、予算を含め、進められるよう努力する。

◆農地と平地林の保全を

問 農地は、食料の生産の場であり、洪水の被害をくい止める。農風景は、私たちの心を和ませる。家族経営の農地保全は、国策によるところが大きいが、保全を町はどのように捉えるか。

答 観光産業課　農地集積と集約化計画で守っていきたいと思う。

問 平地林の保全に先買い制度を導入しては。

答 町長　三芳町みどりの保護育成及び活用に関する条例に、「良好な自然環境を確保するため、特に必要と認めるみどり又はみどりの存する土地を借り受け、または、買入れるよう努めなければならない。」と定めている。今後、緑保全のためにも、この条例を生かせるように検討をしていきたい。

その他の質問

問題点の多いＰＦＩ方式は止めることについて



教育現場や学校施設のリスク管理



日本共産党
本名　洋
ほんな　ひろし

この間、校外活動において生徒の命が奪われるという痛ましい事故が続いて起きたことから質問する。

問 部活動における学校、教育委員会の責任体制は。

答 学校教育課　教育委員会が包括的な管理監督責任を負い、校長及び顧問教員が現場における直接の安全配慮義務、指導監督責任を負う重層的な構造になっている。

問 修学旅行など校外活動に関し、児童生徒の安全確保は確実に行われているか。

答 学校教育課　校外行事承認願、校外行事実施届を事前に提出させ、日程の詳細を把握している。教職員が旅行の下見や旅行業者等複数打ち合わせを行うことにより、児童生徒の安全確保を行っている。

問 災害避難所である学校体育館の安全は確保されているか。

答 教育総務課　耐震補強工事を施工し、安全を確保している。施設や設備における異常については、学校教職員において目視による日常点検を実施している。

問 地域移行後の安全管理責任は。

答 学校教育課　活動を主催する運営団体が安全配慮義務を負う。

◆学校統廃合について

問 三芳小学校の保護者、児童への説明は。

答 学校教育課　保護者会や説明会等を実施して丁寧に説明を行っていく。

問 上富小学校は三芳小学校への吸収ではないのか。

答 学校教育課　両校の関係者による学校準備委員会で準備を進めていく。統合前から交流して新しい学校になるという雰囲気を醸成し、統合後もそれぞれの特色を生かした教育活動を展開していく。



意見書

非核三原則の堅持を求める意見書

核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」とした非核三原則を「国是」として確認してきたが、見直し発言を不安視する声が広がっている。

国際情勢は厳しさを増しているが、こういう時代だからこそ、唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶のため尽力することが求められる。

提出先　国関係機関

賛成討論　公明党　内藤議員

非核三原則の堅持を求める意見書

戦争被爆国として非核三原則を堅持し核兵器のない世界を目指すことは我が国の責務だ。住民の平和を願う思いを国に届ける意見書に賛成する。

反対討論　細田議員

非核三原則と安全保障環境

平和を願う思いは同じです。安全保障環境が変化する中、非核三原則を絶対視せず、核抑止を含む現実的な安全保障施策を議論すべきです。

厚生文教常任委員会

所管事務調査報告

7月16日(木)・17日(金)　東北・北関東の3施設

「ごみは、捨てて終わり」ではない

厚生文教常任委員会では、廃棄物処理とし資源循環について、ごみが収集された後、焼却、発電、資源化、最終処分まで、どのような流れで処理されているかを調査しました。

視察で学んだ３つの施設

①最終処分場



焼却残渣などを適正に処分。限りある処分場を長期的に維持する重要性を学びました。

②サーマルリサイクル施設



ごみ焼却するだけでなく、発生する熱を利用して発電。リチウムイオン電池などの混入防止の重要性を再認識しました。

③資源循環施設



焼却灰などを高温で処理し、道路資材などとして再利用。「捨てる」から「資源として循環させる」取組みを学びました。

三芳町に生かしたいこと

今回の視察を通して、ごみ処理は一通りの循環として考えることが重要だと感じました。

・3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
・分別、適正回収の啓発
・リチウムイオン電池等の適正な回収



住民一人ひとりの「正しい分別」と「ごみを減らす行動」が資源循環の第一歩です。

令和8年
第4回定例会
(8月27日～9月18日)

令和8年第4回三芳町議会定例会は8月27日から9月18日までの23日間の会期で開催しました。

この定例会では、報告4件、議案13件、認定6件、同意1件、意見書2件が上程され、審議しました。議案、認定、同意については全て原案通り可決・認定されました。意見書は1件が可決されました。一般質問では、13名の議員が町政に対して質問を行いました。

令和７年度 一般会計決算

薄氷を踏む
巨額決算を認定

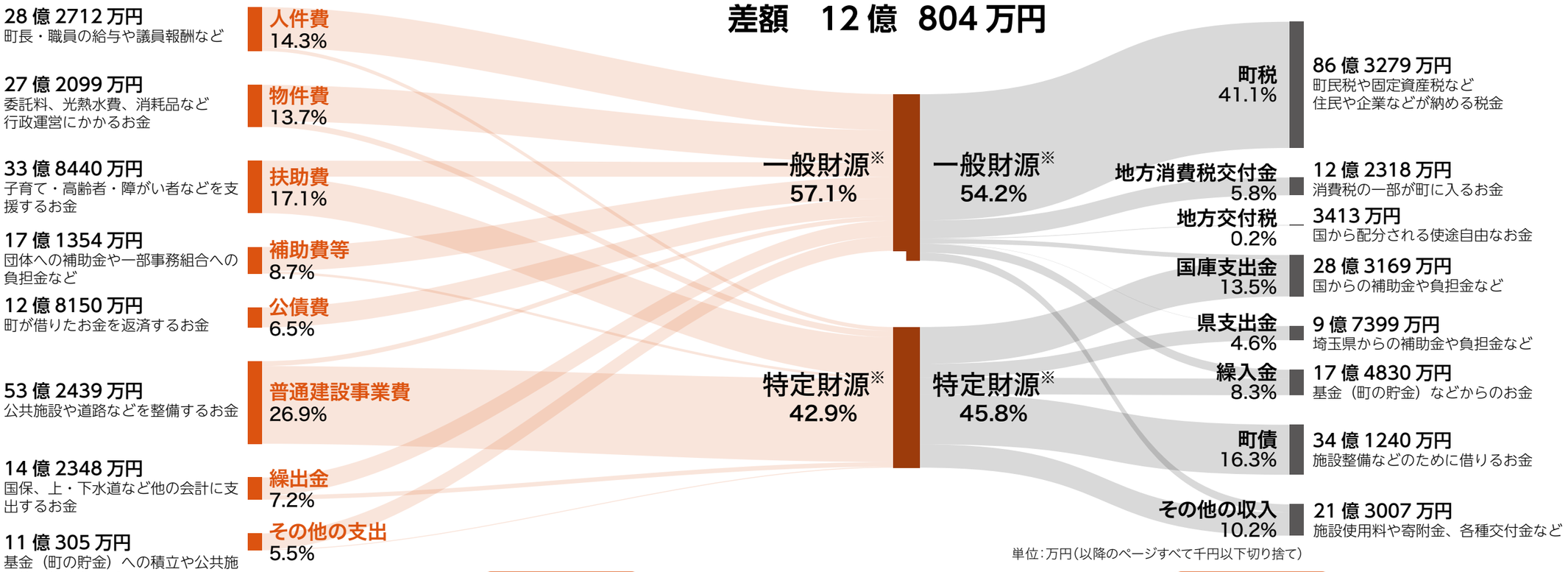
ここがポイント! 普通建設事業費が大幅に増加

23 億 5498 万円
→ 53 億 2439 万円 約 2.2 倍
藤久保地域拠点施設の整備などにより投資的経費が大きく増えた年度になりました。

歳出総額
令和６年度：162 億 108 万円より 35 億 7743 万円増
197 億 7851 万円

歳入総額
令和６年度：173 億 3534 万円より 36 億 5121 万円増
209 億 8655 万円

差額　12 億　804 万円



単位：万円（以降のページすべて千円以下切り捨て）

※一般財源
使いみちが特定されず、自由に使えるお金

※特定財源
法律や制度により使い途が決まっているお金

反対しました

日本共産党 増田議員
黒字を活かした事業展開を
町民生活最優先で、国際交流や道の駅推進より福祉と生活支援に実質収支 11 億円の黒字を活かした事業展開を図るべき。

牛丸議員
海外渡航を伴う表彰式参列に疑問
補正予算での議員の海外帯同を含む儀礼的要素の強い表彰式のための高額な渡航費用等は住民理解と乖離しており評価できない。

輝 吉村議員
国際交流よりも町民生活優先に！
2,000 万円以上の多額な税金支出の国際交流事業は問題。歩道・自転車道の整備や緑地・畑地の保全政策を。低所得者支援の拡充を求める。

賛成しました

三芳みらい 林議員
成果と課題を踏まえた財政運営を
事業成果を評価する。不用額管理や公共施設修繕、子育て・不登校支援、水道事業の経費削減などの課題改善と持続可能な財政運営を求め、賛成。

細田議員
限られた財源を有効活用し将来へ
財源規模が拡大する中、子どもの居場所づくり等を評価し、各事業の効果を検証し、限られた財源を有効活用し、将来負担を抑える取組みを求める。

公明党 小松議員
物価高を考慮し支援や処遇改善を
帯状疱疹ワクチン補助、放課後子ども教室等、我々が要望してきた事業が行われ評価する。今後も町民の命を守る施策充実を要望し、賛成する。

9月8・10・11日

決算特別委員会

※決算を審査するために作った今定例会中のみの委員会。議長を除く14名の議員で構成

令和7年度決算 ここをチェック!

築30年超 役場庁舎、雨漏りも



令和7年8月撮影　役場6階委員会室

庁舎外壁劣化調査業務委託料　**250万円**

主な質疑

問 **外壁劣化調査の結果は。**

答 外壁の一部で爆裂や白華等の劣化が確認されました。

問 **今後の大規模修繕は。**

答 公共施設マネジメント基本計画の改定に合わせ、外壁の対応方法や時期を検討します。

国際交流、どこに、いくら？

マレーシア



受入　姉妹都市訪問団
教育省教育旅行

67万円 含通訳分

派遣　中学生派遣　10人
引率　2人

212万円

オーストラリア



中学生派遣　20人
引率　3人

1197万円

主な質疑

問 **国際交流の成果は町民にどう還元されていますか。**

答 報告会や参加者の体験が次の応募につながり、過去の派遣経験者が国際交流サポーターとして活動する例もあります。

問 **オーストラリア派遣の成果は。**

答 参加した中学生から英語への抵抗が減った。現地の自然や文化を学べたとありました。

MIYOバスもっと便利に



実証運行　令和7年10月1日～6ヶ月
運賃収入　133万円（4781人利用）
国補助金　2791万円
県補助金　931万円
支　出　4547万円（委託料や車両リース代ほか）
町負担分　692万円

当初は 双方向運行を計画していた

主な質疑

問 **なぜ一方向の運行になったのですか。**

答 当初は双方向を想定していましたが、車両・運転手の確保や、両方向への停留所設置が難しくまずは一方向での実証運行となりました。

問 **今後、双方向運行になる可能性はありますか。**

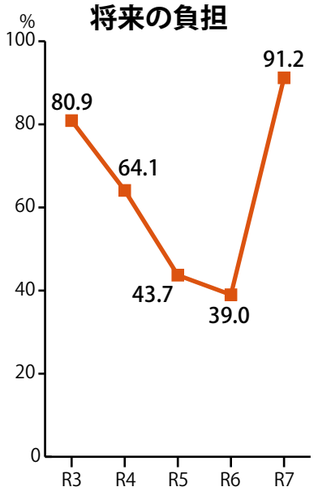
答 双方向運行も選択肢の一つとして現在のコース見直しなどとあわせ利用者の意見を聞きながら検討します。

問 **MIYOバスの進む方向など分かりやすくできないですか。**

答 A・B・Cコースを色分けしたマグネット表示を追加しました。今後の車両入替え時には、住民意見も踏まえてデザイン変更を検討します。

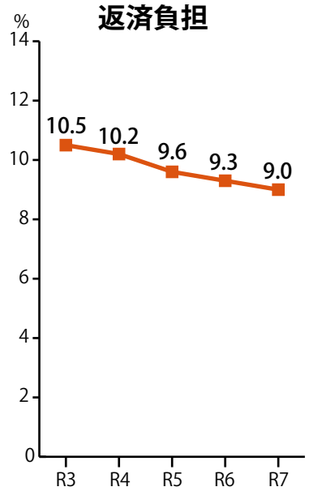
グラフでみる 三芳のお金

将来の負担



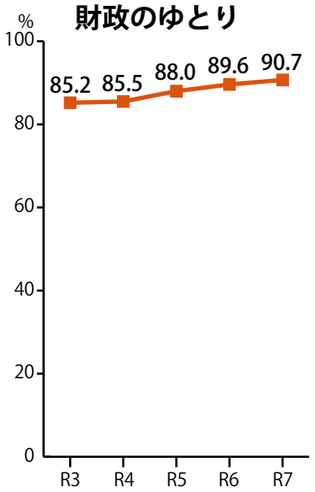
将来負担する借金などの大きさ。高いほど将来の財政負担が重くなります。

返済負担



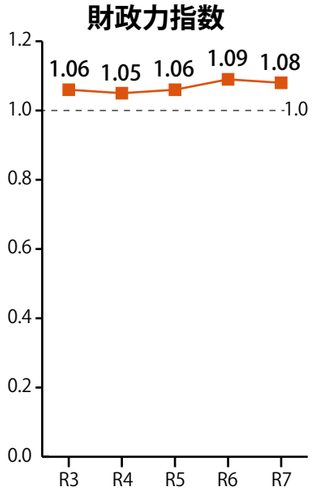
収入に対する借金返済の負担割合。高いほど返済負担が重くなります。

財政のゆとり



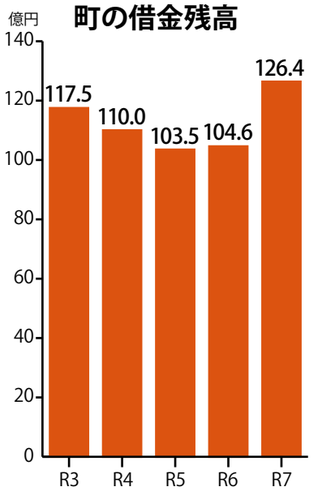
毎年決まって出ていく経費の割合。高いほど財政の自由度が低くなります。

財政力指数



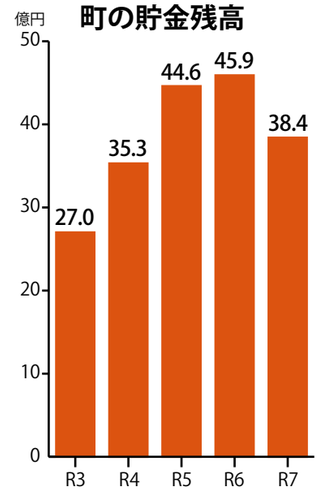
自らの収入で行政をまかなう力。高いほど財政力が強い指標です。

町の借金残高



地方債の残高。多いほど返済負担が大きくなります。

町の貯金残高



将来に備えて積み立てたお金。多いほど財政上の備えがあります。

特別会計
特定の事業や目的のために一般会計とは別に設けられた独立した会計

国保税引き上げ、住民負担は増加
国民健康保険特別会計決算

歳入総額	33 億 7272 万円	前年度比	0.3%減
歳出総額	33 億 1549 万円	前年度比	0.2%減
実質収支額	5723 万円	前年度比	3.8%減

主な質疑

問 **税率改正による住民負担額は。**

答 影響額は約 1 億 3,000 万円です。
1 人当たりでは試算より 1,000 円増です。

反討対論 日本共産党 **本名議員**

国民健康保険税が大幅値上げ

国民健康保険税税率が大幅に引き上げられ、賦課限度額も引き上げられた。国、県の方針とは言え物価高騰の中、住民負担増は認められない。

介護給付費増、制度の持続性は
介護保険特別会計決算

歳入総額	32 億 9862 万円	前年度比	2.2%増
歳出総額	31 億 4340 万円	前年度比	1.6%増
実質収支額	1 億 5522 万円	前年度比	16.1%増



主な質疑

問 **給付費増加の理由はなんですか。**

答 80 歳前後の人口増加に伴う認定者増加が主な要因です。

問 **実際のサービス利用者は何人ですか。**

答 利用者は居宅介護サービス 1090 人
地域密着型サービス　120 人
施設介護サービス　276 人です。

高齢者医療、増える負担を考える
後期高齢者医療特別会計決算

歳入総額	7 億 3241 万円	前年度比	2.2%増
歳出総額	7 億 2859 万円	前年度比	2.2%増
実質収支額	381 万円	前年度比	5.7%減

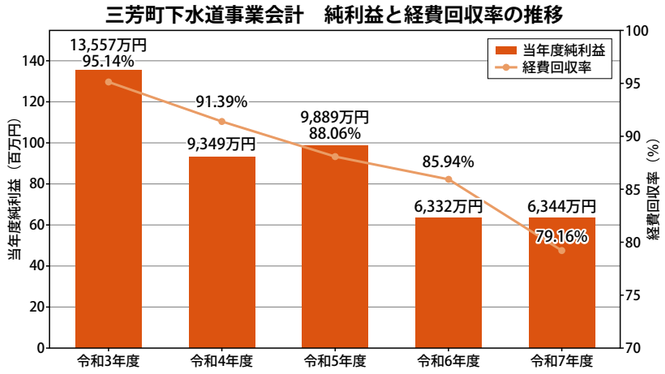


老朽化対策に 25 年間で約 50 億円
下水道事業会計決算

約 6344 万円の黒字
それでも経費回収率は 79.16%に低下

下水道事業収益（下水道料金など）　税抜き
7 億 7335 万円
下水道事業費用（委託料や負担金など）
7 億　991 万円

　下水道管は総延長約 138km。ストックマネジメント計画では、令和 26 ～ 51 年度の 25 年間で、年間約 2 億円、総額約 50 億円の改築費が必要と試算されています。



経費回収率
100%に近いほど、使用料で費用をまかなえていることを示します。

主な質疑

問 **老朽化対策は、これからどう進めますか。**

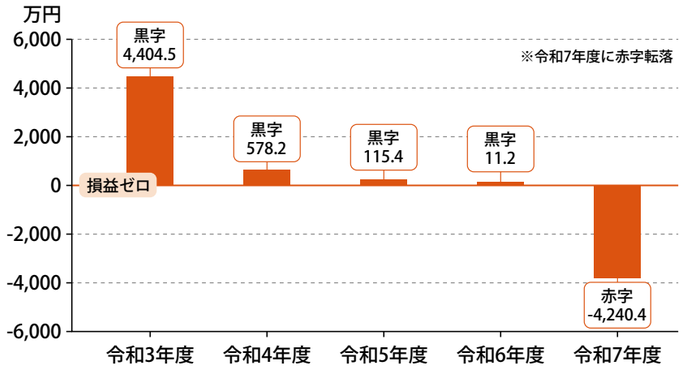
答 管路を点検し、状態を確認しながら必要な改築・更新を進め、健全性が確認できれば耐用年数50年を超えて使用することも検討します。

問 **黒字なのに、なぜ経営は厳しいのですか。**

答 下水道使用料だけでは、汚水処理費用をまかなえないためで、使用料収入の減少や、流域下水道維持管理費の増加などが影響しています。

4240 万円の赤字　令和 9 年度黒字化へ
水道事業会計決算

純損益 5 年間の推移



反討対論 日本共産党 **光下議員**

住民への説明・配慮果たせていない

　水道料金大幅値上げを行うべく審議会に諮問したことは問題だ。加えて、丁寧な説明や住民生活への独自支援が果たされているとは言えない。

主な質疑

問 **なぜ 4240 万円の赤字になったのですか。**

答 前年度に多かった水道加入金が減ったことに加え、浄水場の受変電設備完成に伴い減価償却費が約 1500 万円増えたことなどが主な要因です。

問 **赤字は今後も続きますか。**

答 料金改定を行う令和 8 年度は赤字となりそうですが、令和 9 年度から黒字になる予定です。

補正予算（第２号）に対しての賛成・反対討論

賛成討論　三芳みらい　長野議員

暮らしを支える補正予算に賛成

町民生活を支える各事業を評価。学校給食代替費補助は、子どもの実情に即した公平で柔軟な制度運用と、実施後の検証・改善を求め賛成。

反対討論　牛丸議員

流動的な構想の委員会に反対

債務負担行為否決直後に道の駅構想の検討可能性を含む予算措置は認められない。上富小学校跡地利用に限定した検討委員会とすべきである。

賛成討論　公明党　桃園議員

住民生活に安心が広がるように

長引く物価高騰の中、交付金の使途は住民が生活支援として実感できることが大事。生活や地域交流、子育て支援など幅広く含まれており賛成。

反対討論　細田議員

給食費補助と道の駅を問う

給食費補助の公費拡大と、道の駅を前提とした協議会の進め方には検討が必要。家庭の役割を尊重し、公費は真に必要な支援を優先すべき。

令和8年度一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ627万円を追加し、予算総額を177億957万円とするもの

多くの来館者のニーズに対応！

ルミナみよし仮設駐車場整備費用　627 万円

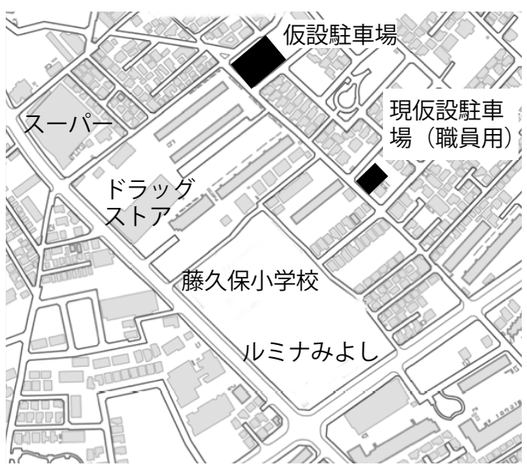
未来創造拠点施設ルミナみよし来館者のための仮設駐車場を整備する

仮設駐車場用地借上料	494,000 円
仮設駐車場整備・撤去工事	5,778,000 円

想定駐車台数：47 台

敷地面積：1,047.29㎡

借地期間：令和 8 年 10 月～令和 9 年 9 月



令和8年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ2億7370万円を追加し、予算総額を177億330万円とするもの

上富小学校跡地利用・道の駅の是非を検討

（仮称）地域活性化未来創造拠点検討委員会委員謝礼等　20 万円

識見を有するもの（2 人）
15,000 円× 2 人× 3 回＝ 90,000 円

委員（8 人）
4,000 円× 8 人× 3 回＝ 96,000 円

ほか

主な質疑

問　**検討委員会を設ける理由はなんですか。**

答　西の玄関口として、道の駅が必要か、否か。また、上富小学校跡地利用について検討するものです。

省エネ家電に買い換えチャンス！

エアコンと冷蔵庫の買い換え購入補助　960 万円

家庭の省エネルギー化を推進し、温室効果ガスの削減及び光熱費の負担軽減を図るもの

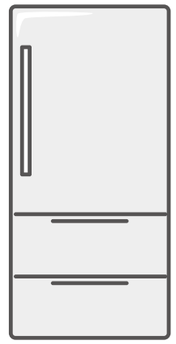
〈国の交付金事業〉

省エネ家電買換促進補助金　960 万円

・町内小売店での購入補助
　70,000 円× 10 件
・町内大店舗での購入補助
　50,000 円× 176 件



対象条件はこちら▶



給食費相当額の負担軽減

学校給食代替費補助金　19 万円

やむを得ない理由（アレルギー・宗教上の理由・不登校・長期入院等）で学校給食の提供を受けられない家庭に対して学校給食費相当額を補助するもの

5,500 円× 6 ヶ月× 6 人



主な質疑

問　**当初、不登校児童は対象外との説明がありましたが、変更した経緯は何ですか。**

答　課内で慎重に検討した結果、不登校児童の家庭に対しても給食費相当額を支援する事としました。



チェック！

不適切な税の充当を指摘

都市計画事業基金を新設

都市計画税は、国や県の認可を受けた都市計画事業と土地区画整理法による土地区画整理事業に充てるものです。今般、一部認可外の事業に充当していることが議会の指摘で発覚。

その結果、新しく基金を設置するとして、条例がつくられました。

都市計画税条例の一部を改正

都市計画税 ３年間非課税に

認可を受けた都市計画事業に充当した後、剰余金が生ずることがわかったため、当面令和９年度から３年間課税しないとして改正するものです。

主な質疑

問 **なぜ都市計画税を３年間課さないとしたのですか。**

答 都市計画事業の進捗状況と町の財政収支を勘案した結果です。

問 **認可を受けた都市計画事業が少ないことが続けば、この課税しない３年間は延長される可能性があると思いますが。**

答 都市計画事業の進捗に合わせて検討していきます。

問 **把握できる不適切な充当は合計14億８千万円になります。現状では税率0.2%は過剰であり、また、どれだけ事業認可があるかは未定です。**
そうであれば、この３年間にどうすることが適切か、しっかり協議体制をつくることが重要ではないですか。

答 指摘の通りであり、担当課を含め慎重に検討していきたいと思います。

都市計画道路を唐沢小学校まで整備

町道幹線７号線（都市計画道路）の道路築造工事請負契約が決まりました。

○契約の方法　一般競争入札
○契約金額　２億7735万4000円
○契約の相手方　塩野建設工業㈱
○工事期間　契約確定の日から令和10年１月28日まで
○工事内容　延長395m、幅員16m



ルミナみよし 藤久保地域拠点施設整備等事業 117億円に

９月１日オープンした「ルミナみよし」の変更契約です。資材・人件費高騰につづき金利上昇によるもので２回目の変更です。

○変更の概要
・変更による増加額（税込）１億1594万7003円
・変更後の契約額　117億2534万　830円



主な質疑

問 **当初、10年物国債レートを対象にしていましたが。**

答 金融機関とのやり取りで低利のトナー（TONA）でいくこととしました。最初は3.2%で、その後10年物国債レートで2.611%、トナー（TONA）で2.488%となります。

職員の勤勉手当の算定基礎額から扶養手当を削除

県の指摘もあり、条例の一部改正をするものです。

主な質疑

問 **該当人数は何人で、影響額はいくらですか。**

答 受給者は93名で、約249万円です。

反対討論

日本共産党
本名議員

「扶養手当」の削除

勤勉手当の算定基準から扶養手当を除くものであり、金額としては低いが、削除は問題であり、それに代わる措置を求めた上で反対する。

■議員の賛否を公開します

◀詳細については議会ホームページをご覧ください。

○賛成　×反対

令和８年第４回定例会　審議結果

議案	結果	三芳みらい 細谷光弘	三芳みらい 池上義典	三芳みらい 長野真寿美	三芳みらい 林善美	日本共産党 光下重之	日本共産党 増田磨美	日本共産党 本名洋	公明党 小松伸介	公明党 桃園典子	公明党 内藤美佐子	輝 久保健二	輝 吉村美津子	細田三恵	牛丸藍子	菊地浩二
決算認定																
令和７年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○
令和７年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度三芳町下水道事業会計決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度三芳町水道事業会計決算認定について	原案認定	議長	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算																
令和８年度三芳町一般会計補正予算（第２号）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
令和８年度三芳町一般会計補正予算（第３号）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度三芳町国民健康保険特別会計補正予算	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度三芳町介護保険特別会計補正予算	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度三芳町下水道事業会計補正予算	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度三芳町水道事業会計補正予算	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例制定・改正、契約締結、道路認定																
三芳町都市計画事業基金条例 ・都市計画事業又は土地区画整理事業の財源に充てることを目的とし、三芳町都市計画事業基金を設置するもの	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町都市計画税条例の一部を改正する条例 ・令和９年度から３年間、各年度分の都市計画税を課さない特例措置	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・職員の勤勉手当から扶養手当を削除するもの	原案可決	議長	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○
職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 ・被害者参加人として裁判所等に出頭する際には特別休暇の対象とするもの	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道幹線７号線道路築造工事請負契約の締結について ・一般競争入札　２億 7735 万 4000 円	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
藤久保地域拠点施設整備等事業変更契約の締結について ・金利上昇により１億 1594 万 7003 円の増加に係る変更	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町道路線の認定について ・町道とするため	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告																
令和７年度三芳町一般会計継続費精算報告書について	報告のみ															
令和７年度三芳町健全化判断比率の報告について	報告のみ															
令和７年度三芳町下水道事業会計資金不足比率の報告について	報告のみ															
令和７年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について	報告のみ															
同意																
三芳町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について ・任期満了に伴い提案するもの	原案同意	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
要望・意見書																
道の駅計画の推進を求める要望について	配布のみ															
空襲被害者等援護法の制定を求める意見書について	否決	議長	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○
非核三原則の堅持を求める意見書について	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

傍聴席から

本会議や委員会を傍聴された方からご意見・ご感想をいただきました。
※一部抜粋を含む

大事な視点だと思いました。生きづらい世の中になり、安心安全の町をお願いしたいと思います。

＊＊＊

可能なら字幕システム正面（課長さん）席後ろの壁面にあるとなおさら見やすいと思います。

＊＊＊

専門用語等の補足説明を入れてもらえるともう少しわかりやすいかと思います。
質問に対する回答の資料が欲しい。

＊＊＊

農地、平地林減少しないこと考えておしえてほしい。

＊＊＊

活発な議論を間のあたりにし刺激を受けました。
住民の方に寄り添った議会・町政を感じます。

＊＊＊

一人暮らしの方からの相談があり具体的なことも知れてよかったです。雨の対策、災害協定はとても良い事ですね。

＊＊＊

PFI方式はやめた方がいいと思いますが、課長、町長は以前に戻す考えがないことを答弁で感じました。
自転車道の整備進めてほしい。
開発ばかりで平地林が失われすぎます。家族農業を残してください。

＊＊＊

増加する不登校者に対する様々なツールがあることがわかってよかった。精神的な面で肯定的に捉えることが大事。
20年来静聴してまた道の駅は今回否決されたがさらに住民へのアピール、なぜ必要か知らせる必要あると思った。

＊＊＊

自転車が通行できるようにしてください。

＊＊＊

町のため町員のための活動に興味がありました。すばらしい町に発展しましたね。

＊＊＊

歩道の整備はお願いいたします。

＊＊＊

PFI方式にすると大企業の主営になってしまう。町長は慎重に考えると言っていたが今までよい方向になった方が少ない。

＊＊＊

中学生の給食費無償に。低所得者の熱中症対策。この２つの意見で町はお金の使い方を考えてほしい。開発より福祉へ。

＊＊＊

質問に対して執行部側の対応が丁寧でした。小学校の統廃合の進め方について教育長のお答えはとても重要でした。この考え方（＝思想）を広く町民に知らせてほしいと思いました。

※原文のまま掲載

傍聴人数

本会議		人数	YouTube視聴回数
令和８年　第４回定例会			
8月27日	議案説明等	1人	98
8月28日	一般質問	2人	576
8月31日	一般質問	4人	487
9月 3日	一般質問	11人	412
9月 4日	一般質問	2人	108
9月11日	議案説明	0人	54
9月18日	議案審議・閉会	3人	1315
合　計		23人	3050

委員会		人数	YouTube視聴回数
9月 4日	総務常任委員会	0人	
9月 7日	全員協議会	0人	
9月 7日	厚生文教常任委員会	0人	
9月 8日	決算特別委員会	0人	1504
9月10日	議会運営委員会	0人	
9月10日	決算特別委員会	0人	1041
9月11日	決算特別委員会	0人	901
9月17日	議会運営委員会	0人	
合　計		0人	3446

同意しました

任期満了に伴う委員の選出に同意しました。

同意第５号
三芳町固定資産評価審査委員会委員
船津　輝佳　氏

第201号を読んで

よみやすイネ
わかりやすイネ

議会だよりをめざして

第2回議会だよりモニター意見交換会

議会だよりモニターのみなさんよりたくさんのご意見を頂きました。
そうかぁ! なるほど! つぎからは! と気付きを頂くことがたくさん!
次号に活かしてまいります!

201号で改善したポイント

- 表紙写真に合わせたキャッチコピーをそえること。
- 記事の内容説明は出来るだけ文字数を減らし分かりやすくすること。

さらに読みたくなる議会だよりへ

モニターさんよりアドバイス

1. 議会だよりをホチキス止めしてバラバラにならないようにしては
2. 読者数の推移を測定しては(読者プレゼントのような工夫は)
3. アンケートのコーナーでは回答に対しての割合(%)をしめしては
4. 表紙にインパクトのあるトピックスを載せては
「道の駅の今後は」など町民の関心のある事柄など
5. 冊子のカラーを年度で統一するとわかりやすいのでは
6. 文字サイズやフォント、色は原色を用いるなど目を引く工夫をしては
7. 法律に関する国のことも町民に関係するので取り上げては
8. 一般質問の見出しは、質問内容と連動した方がわかりやすいのでは
9. アンケートのご意見にコメントを返してはどうか
10. 専門用語のわかりやすい説明が必要では



ご回答ありがとうございます!

議会だよりアンケート

議会だより第201号のアンケート集計結果発表

読みやすいですか	読みやすい　4件
関心のある項目は	一般質問、表紙、本会議の内容 傍聴席から、賛否一覧ほか各1件
議会だよりの印象は	役に立つ　2件 読みやすい　1件 堅苦しい　1件
今後読んでみたいと思われるために必要なことは	記事の内容を誰でもが理解できるようにする　4件 特集記事のコーナーを増やす　1件

お聞かせください あなたの声

議会だよりについての感想やご意見などをお寄せください。

令和8年11月30日締切

ご応募ありがとうございます!

あなたの写真で、まちの魅力を伝えませんか?

表紙写真募集



三芳町のすてきな瞬間をお待ちしています!

令和8年11月30日締切

- 氏名・住所・連絡先・コメントを添えてください（写真に写っている方等には掲載許可を得てください）
- 採用された写真は応募者（撮影者）の氏名及び在住等を掲載します。
- 応募多数の場合は選考となります。

お問い合わせは議会事務局まで
gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

二次元コードからご応募ください。

みなさんのとっておきの一枚をお待ちしています!

議会だより 三芳町 第202号

発行 埼玉県三芳町議会
編集 議会広報広聴常任委員会
印刷 望月印刷株式会社

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保1100番地1
電話 049-258-0019 FAX 049-274-1057
Mail gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp



埼玉県原爆被害者協議会
（しらさぎ会）
柳井　潔　氏

令和8年8月18日　開催
「被爆者の声を聴く証言会」

証言者から戦争や核兵器の恐ろしさを感じ取り、核兵器のない平和な社会のために何ができるかを共に考える契機となりました。



証言者の体験談を聴く

生後７か月、爆心地から 2.5km 付近の自宅で、証言者は母親とトイレに入っている時に吹き飛ばされました。

埼玉県原爆被害者協議会は 1958 年に始まり現在も核兵器廃絶を求めて活動しています。

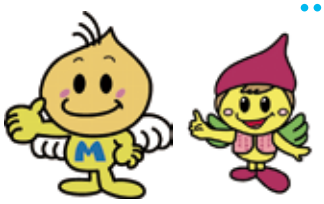
被爆者が高齢化するなか
体験を後世に伝えるため
「核のない世界を目指し」
運動をしています。

議会の動画を配信しています。

議会の動画をインターネット動画配信サイト YouTube 上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のＱＲコードを読み込むか、右記 QR コードにアクセスしてください。

三芳町議会
中継ページ

次の議会定例会は
11月16日(月)
開会の予定です



お気軽に傍聴へ
お越しください

声の議会だより

朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトで聴くことができます。

編集後記

暑かった夏が過ぎ、朝夕の風に少しずつ秋を感じるようになりました。皆さんは、どんな夏を過ごされましたか。

この夏も、全国各地で大雨や台風などによる災害が発生しました。被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、いつもの暮らしが戻りますことを願っています。

三芳町では、いよいよ「ルミナみよし」が開業いたしました。新しい人の流れや交流が生まれ、子どもたちの笑顔や、地域のにぎわいにつながる場所になってほしいですね。皆さんもぜひ足を運んでみてください。

議会だよりも、町の出来事や議会の動きを身近に感じていただける紙面を目指してまいります。秋の実りとともに、三芳町議会も実りある議会活動を進めてまいります。

（委員　桃園）

議会広報広聴常任委員会
委員長　菊地浩二
副委員長　池上義典
委員　吉村美津子
委員　光下重之
委員　細田三恵
委員　桃園典子
委員　牛丸藍子
委員　増田磨美

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です